

八女市未来づくり協議会

～まちづくり団体の情報誌 第7号～（H29・4月発行）
発行：八女市企画振興部 地域振興課地域づくり推進係 TEL0943-23-1224

八女市未来づくり協議会では、平成28年12月7日～8日に、各地区のまちづくり協議会役員と市職員の総数42名が参加し、福岡県宮若市で展開されている「宮若市まちの駅」の仕組みや運営等についての視察を行いました。

宮若市は平成18年2月11日、旧宮田町と旧若宮町が合併し発足した市で、福岡市と北九州市の両政令指定都市のほぼ中間に位置した自然豊かでのどかな地域です。宮田地区は、明治17年に石炭採鉱が開始され大規模なエネルギー供給地として発展してきましたが、エネルギー革命の影響を受けて炭鉱が閉山。その後は自動車産業（トヨタ）やIC産業等により、新たな基幹産業の時代を迎えています。また、若宮地区は炭鉱開発等はなく、農業を基幹産業とする純農村地域として現在に至っています。



こうした旧宮田町と旧若宮町が合併を機に手掛けたのが「まちの駅」で、人と人との出会いと交流を促進するヒューマンステーションとしての意味合いがあり、「道の駅」の民間版として地域活性化に向けた取り組みを行っているものです。「まちの駅」は、市内で業務を行っている農産物直売所、温泉宿、飲食店、自動車店（販売・整備・民間車検場等）、娯楽施設、寺、郵便局、コンビニ店など、現在19施設が登録されています。この「まちの駅」の特徴としては、各駅とも①休憩スポットとして、気兼ねなく出入りできる。誰でもトイレが利用できる。一息つける。②情報スポットとして、宮若のイベントなどまち

の情報収集ができる。パンフレットにはない旬な情報が入手できる。③交流スポットとして、宮若の人とのふれあいや駅長のおもてなしで、出会いと交流をサポートしてもらえる。などのメリットがあり、視察した農産物直売所では、おもてなしをコンセプトに、職員による徹底したトイレ掃除や6次産業化を見据えた農産物の取り組み、イベントカレンダーの作成とスタンプラリーなどの取り組みについても話しを伺いました。これらは毎月1回の「駅長会議」で協議され、成果と反省の上で地域の再発見や再確認をしながら地域全体の底上げをめざしているとのことでした。

今回の視察研修では、「道の駅」ほど「まちの駅」の知名度がまだまだ浸透していないなどの課題も伺いましたが、まちに存在する「ありのままの姿」に「おもてなし」という付加価値を加え、それをまちづくりに生かし住民が主役で取り組んでいることを学びました。今後、それぞれのまちづくり協議会においても参考にしていきます。

《会長あいさつ》 未来づくり協議会会長 草場雄二郎

飛躍の年、変革の年といわれる酉年を迎えた平成29年であります。私たち未来づくり協議会にとりましても飛躍の年にしたいものです。

さて、21のまちづくり団体が区域の現状や課題を明らかにし、将来のあるべき姿や理想とする地域像を定め、その実現に向けた基本方針および具体的活動を定めた「地域振興計画」を、全まちづくり団体が策定することができました。

今後、各まちづくり団体がそれぞれの地域の核となり、地域振興計画に基づき飛躍的なまちづくりを進めていただくことを期待します。



《市長あいさつ》 八女市長 三田村 統之

日頃より本市のまちづくり、地域づくりにご尽力いただき心よりお礼申し上げます。さて、合併後目標に掲げた地域振興計画の策定は平成28年度、市内の全21地区において完了し、それぞれの地域でめざす将来像に向けた取り組みが一層進むものと大変期待をしております。市政においては、平成29年度も引き続き「第4次八女市総合計画」や「八女市まち・ひと・しごと創生総合戦略」等の計画に沿いながら、「安心づくり」「仕事づくり」「ひとづくり」「八女らしさ」の4本柱で施策を展開してまいります。今後も地域の特性と魅力を活かしながら、市民との協働によるまちづくりを推進し、市民が心豊かに暮らせる八女市を目指してまいりますのでご理解とご協力をよろしく申し上げます。



地域づくり提案事業 活動事例発表要旨

○夢かさはら自治運営協議会「お茶の里シェアハウス『天空の屋敷』整備事業」

発表者：夢かさはら自治運営協議会 会長 浅田 秀敏

《事業の趣旨》

全国で空き家や耕作放棄地の問題が深刻化しています。都市化が進み、若者の農林業離れが進む中で、山村地域ではそれらの現象が顕著に現れてきています。

今回、買い手がつかないために取り壊される事が決まっていた山奥（屋敷地区）の空き家の一部をなんとか活用して若者が集い、活気ある場所にしたいという思いで、滞在型援農拠点（シェアハウス）として活用するための改修整備事業を実施いたしました。

山村地域の強みである日本の原風景や文化を感じられる場所として、旅行者等を定期的に受け入れ、地域住民との交流による活性化や農家の一時的な人手不足解消に繋げ、将来的には新たな農村の担い手の育成に繋がることを願っています。

《事業の概要》

改修をするところから地域内外の交流を生み出し、場所への愛着を生み出すため、インターネット等を活用して呼びかけ、一般参加可能型の空き家改修ワークショップを行いました。

共同作業による空き家の片づけ、掃除、改修工事を行い、わいわいがやがやのにぎやかな作業が行われました。抜け落ちていた床や、腐食が進んでいた壁は、地元産材により快適な空間へと改修されました。

《事業効果および今後の展望》

訪問者には記帳簿への記帳をお願いしたところ、10月には52名、11月には20名、冬期（12月、1月）でも各10名以上の訪問者があり、旅人同志、また地域の方々との交流が行われました。日本だけでなくヨーロッパ、アジア、南米等、様々な場所からこの地を訪れ、SNS等を通じて地域の良さを発信してくれています。

日本を訪れる外国人観光客は年々増加しており、日本の古い景観や文化、地元の方との交流は海外からの旅行者には特に好評のようです。また、日本の若者にとっても自然を相手にする農業や山仕事は新鮮で、いきなり職業とするにはハードルが高いため、まずは地域との交流や、知る事からと、この場所のことが口コミで話題を呼んでいます。まだまだ多くの方に、笠原地区の暮らしのことや文化のことを知って頂きたいと思います。



○黒木地区自治運営協議会「飛び出し注意看板設置事業」

発表者：黒木地区自治運営協議会 会長 樋口 俊朗

《事業の趣旨》

黒木地区は国道 442 号線および都市計画道路を除き、道路幅員が狭く住宅も密集しており、また、小さな道路も複雑に入り込んでいるため、交通弱者と言われる子どもや高齢者の飛び出しによる交通事故が懸念されていました。当協議会ではそういった事故を未然に防ぐとともに、地域住民の交通安全に対する意識の向上を図るため、各行政区に危険個所の把握と看板設置個所数を報告して頂き「飛び出し注意」看板を設置したものです。

《事業概要》

- ◇看板規格
 - ・絵部分 高さ 50 cm 幅 40 cm
 - ・文字部分 高さ 30 cm 幅 15 cm
 - ・支柱部分 高さ 92 cm
 - ・コンクリートブロック 縦 39 cm 横 19 cm 高さ 15 cm
- ◇設置個所数
 - ・88 カ所
- ◇設置場所
 - ・民有地 69 カ所 ・公民館用地 1 カ所 ・消防詰所用地 1 カ所
 - ・市道 14 カ所 ・市有地 1 カ所 ・県有地 2 カ所



《設置期間》

平成 28 年 4 月 11 日～4 月 15 日

《事業効果および今後の展望》

設置した「飛び出し注意」の看板が目につくことにより、ドライバーの交差点での徐行、あるいは子ども、高齢者の歩行のマナー向上など交通安全に対する認識が高まってきました。

今後、こうした状況が地元住民のみならず地域外にも広がり、安全で豊かな暮らしができるよう期待しています。



第 2 回八女市未来づくり協議会開催

開催日 平成 29 年 2 月 23 日 (木)
場所 本庁 205 号会議室

各協議会委員と市長をはじめとする市執行部の出席のもと、第 2 回の協議会を開催しました。

第 1 部は、情報交換として地域づくり提案事業の活動事例を 2 団体から発表してもらいました。**(発表要旨については本誌面に掲載)**

第 2 部は市執行部との意見交換会を行いました。未来づくり協議会から、①市長 3 期目の施政方針について、②まちづくり協議会やその構成団体である地域の各種団体を支える事務処理への支援について、質問が出されました。

これに対して執行部からは、①については「第 4 次八女市総合計画」や「八女市まち・ひと・しごと創生総合戦略」等の計画を着実に推進し、人口減少に歯止めをかけ、次の世代の若い人たちが希望のもてる基盤づくりを行いたい。②については、各まちづくり協議会の現状を伺いながら、必要な措置を検討していく。などの考え方が示され、有意義な意見交換会となりました。



平成28年度未来づくり協議会の取組み

	事業名	事業の詳細	参加者
平成 28 年 4 月 13 日	第 1 回役員会	○平成 28 年度 「総会及び第 1 回未来づくり協議会」要領検討	会長、副会長 事務局
5 月 12 日	未来づくり協議会 総会及び第 1 回市 執行部との意見交 換会	○平成 28 年度役員体制について ○平成 28 年度事業計画・予算について ○市執行部との意見交換会	協議会委員 市執行部 事務局、支所
7 月 14 日	第 2 回役員会	○「地域づくり研修会」及び「先進地視察研修」 について	会長、副会長 事務局
8 月 4 日	第 3 回役員会	○「地域づくり研修会」役割分担及び「先進地視 察研修」について	会長、副会長 事務局
10 月 19 日	第 4 回役員会 平成 28 年度 地域づくり研修会	○地域づくり活動事例発表（2 団体） ・木屋地区自治運営協議会 ・NPO 法人辺春地域振興会議 ○講演会「目からウロコの安全・安心まちづくり」 講師：株式会社まちづくり計画研究所 代表取締役 今泉 重敏氏	来賓（市長、議長） まちづくり協議会 構成員、区長、 公民館長、議員、 市民（170 名）
12 月 7 日 ～8 日	先進地視察研修 （1 泊 2 日）	○地域づくりに関する先進的事例調査 ・福岡県宮若市	協議会委員 事務局、支所
平成 29 年 1 月 12 日	第 5 回役員会	○視察研修の総括及び第 2 回未来づくり協議会 開催要領の検討	会長、副会長 事務局
2 月 23 日	未来づくり協議会 及び第 2 回市執行 部との意見交換会	○地域づくり活動事例発表（2 事例） ・夢かさはら自治運営協議会 ・黒木地区自治運営協議会 ○市執行部との意見交換	協議会委員 市執行部 事務局、支所
3 月 15 日	第 6 回役員会 情報誌の発行	未来づくり協議会事業報告 情報誌の発行（4 月 1 日）	（全戸配布）

地域づくり研修会

開催日：平成28年10月19日（水）

場所：おりなす八女 はちひめホール

《第 1 部》地域提案事業を実践してきた事例発表

- ◆木屋地区自治運営協議会「発表者：馬渡淳二さん、森田孝幸さん」
◇階段や管理道路を舗装しベンチや花壇を整備した「渡内公園拡
充プロジェクト」、姫御前の悲話を知ってもらおうと計画した
「姫御前史跡周辺整備事業」について報告
- ◆NPO 法人辺春地域振興会議 「発表者：山田学さん」
◇日本食の代表的な食べ物である味噌・こんにゃく作りの体験を
通して技術の伝承を図る「八女の昔ながらの味噌作りやこんに
ゃく作りを伝承するプロジェクト」について報告

《第 2 部》講演会

- ◆演題：「目からウロコの安全・安心まちづくり～住民主体の安全・安心まちづくりの仕掛け方～」
講師：株式会社まちづくり計画研究所 代表取締役 今泉 重敏 氏

地域の特性を踏まえ、すぐにでも実践可能な楽しく実効性のある各種事業を、地元のやる気を高めながら実践していく、新しい地域づくりの実例について講演

